

## A cross-sectional observational study of developmental coordination disorders in the school-age very low birth weight children

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井上, 亜由美 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00033287">https://doi.org/10.20780/00033287</a>

## 学位論文の要旨

A cross-sectional observational study of developmental coordination disorders in the school-age very low birth weight children (就学直前のフォローアップ健診による極低出生体重児における微細協調運動機能の評価)

東京女子医科大学大学院  
内科系専攻小児科学分野  
(指導：永田 智教授) ㊞  
井上 亜由美

「Tokyo Woman's Medical University Journal(accepted)」

**【要 旨】** 就学期を迎えた極低出生体重児 (very low birth weight children: VLBWC) では知的能力症を伴わない軽微な神経発達症の合併が定型発達児に比して多い。その中に、発達性協調運動症 (developmental coordination disorder: DCD) があり、就学後の学校生活に支障を来している。DCD の評価については、一定の方法や基準はなく、VLBWC における DCD 合併の詳細は明らかになっていない。我々は、海外で微細協調運動の評価法として一般的に用いられている Movement Assessment Battery for Children-Second Edition (MABC-2) を VLBWC の 6 歳児に対して行い、VLBWC の DCD の合併の詳細を明らかにした。6 歳児健診を受診した VLBWC のうち、同意の得られた VLBWC 14 例 (在胎週数 26 週 ± 2. 74 日、出生体重 986 ± 355g) の微細協調運動を、MABC-2 を用いて、定型発達児と比較検討した。また、DCD と判断された VLBWC 群の生活上の問題点を Children Behavior Checklist (CBCL) の結果から調査した。MABC-2 は、知的境界児であっても検査が可能であった。その結果、VLBWC 群は、コントロール群に比べて、DCD 及び DCD リスク児を高率に認めることがわかった。VLBWC は、手指の巧緻性がとりわけ低く、CBCL 上、運動の不器用さに起因する日常生活の問題と結びついていることが明らかになった。今後は、微細協調運動機能の詳細な評価を、MABC-2 が使用可能な 3 歳児に対しても行うことにより、DCD の詳細な経過を観察しながら有効な理学療法的介入を模索していくことが必要と思われた。